

平成30年3月度活動報告（H30/2/19～H30/3/18まで）

環境整備(植栽保守・清掃美化)

植栽定期保守

- ① 3月度の桐屋造園による植栽定期保守作業はありません。

植栽スポット保守

- ① 3月度の植栽スポット保守作業は理事会/理事長の承認に基づく今期の作業が22日から31日にかけて桐屋造園により実施される。
- ② その他、現在確認されている工期内における追加作業の内容は以下の通りである。
- ホルトノキ(葉の黄変または枯れ)の検証
 - 6号棟(7号棟寄り)花樽横のサザンカ(葉の枯れ)の検証
 - ロウバイ(古木の割れや枯死と「ひこばえ」の取扱い)の検証
 - 6号棟駐車区画G18～G21で車高の高い車に接するおそれのあるサワラの剪定

清掃美化活動

- ① <2月25日(日)>
理事会終了後、例月のとおりゴミ集積所を巡回したが、特筆すべき事項はなかった。
- ② <3月9日(金)>
3月1日、元ビルメン池田義雄氏に下記作業を依頼、7日に完了した。
- ゴミコンテナの修理(本体キャスターとフタの割れ、対象は全ゴミ集積所と予備コンテナ)
 - 土留めのためのレンガ敷設(1号棟西側の植栽と歩道の境目)
- 本日理事長の承認を受け、支払いのための関連書類を(株)東急コミュニティーに回付した。
(合計金額は¥25,000(税込み)、修理用ワイヤーとレンガの購入代金として別途¥4,458 が発生している。)

その他

- ① <3月9日(金)>
灌木下に堆積した大量の落葉の処理については、環境整備担当者の多数意見により今回は外注によらず、4号棟南側の6本ケヤキ周りのレンギョウ下を中心に重点的に環境整備担当者で処理するものと決定した。実際の作業は10日と11日に行われ所期の目的を達成した。
なお、追加的に以下の処理を実施した。
- 4号棟東側のオオムラサキツツジとハイカンツバキの根元の落葉の処理
 - 1号棟苦情(専用庭への落葉飛来)処理のためのヒイラギモクセイの根元の落葉の処理
- ② <3月2日(金)>
夕刊配達人による遊歩道の危険なバイク走行を発見・注意した。これで2つの代表的な新聞の専売所スタッフがこの危険行為に関与していることを確認したことになる。以後、危険行為は目撃されていない模様である。

以上